

核被害による長期避難の実相 6/18(土)
～チェルノブイリとマーシャル諸島に学ぶ～

関西学院大学災害復興制度研究所は、世界の核被害の実相について考えるシンポジウムを開催する。

半世紀前の米国の核実験で汚染され、除染と避難生活を強いられているマーシャル諸島の人たち。チェルノブイリ原発事故で被災した住民の「避難の権利」を保障する旧共産国。福島第一原発事故の後、福島県から全国に4万人超が避難を続けている中、海外の実態から汲み取るべき教訓とは何かを考える。

※一般参加可、無料、事前申し込み要

- 日時:2016年6月18日(土)13時～17時
- 場所:西宮上ヶ原キャンパス大学図書館ホール
<プログラム>

- 第1部:
チェルノブイリ30年後の「移住権」と「居住者の権利」
～二者択一を超えて
講師:尾松亮(ロシア研究者・関西学院大学災害復興制度研究所研究員)
- 第2部:
マーシャル諸島・核実験避難島での生活再建
講師:中原聖乃(中京大学社会科学研究所特任研究員)
- 申し込み・問い合わせ先:
災害復興制度研究所(TEL:0798・54・6996)

ハーバード大学生アカペラグループ
関西学院ランバスチャペルで
パフォーマンス 7/4(月)

関西学院宗教センターは、ハーバード大学現役学生のアカペラグループ「ハーバード・ディン・アンド・トニクス」(<http://www.dins.com>)を招いてランバス演奏会を開催する。1979年に結成された伝統ある実力派グループで、その歌声はアメリカの一流ジャズシンガーからも絶賛される。5月～8月の間、ワールドツアー中で、欧州、アジア・オセアニア各国を回っている。

来日するのは12名。当日はジャズ音楽を主とし、他にもユーモアのある音楽、フォーク、カリブソー、ポップスなど幅広くカバーする予定。コンサート後には関西学院グリーククラブの学生との交流会も予定。

※一般参加可、無料、事前申し込み不要
<第204回 ランバス演奏会>

- 日時:7月4日(月)17時開演(16時30分開場)
- 場所:西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂
- 問い合わせ先:
関西学院宗教センター(TEL:0798・54・6018)

「神々の宿る布～古代アンデスからのメッセージ」 大学博物館企画展

関西学院大学博物館は企画展「神々の宿る布-古代アンデスからのメッセージ」を開催する。

今回展示するアンデスの染織品は、墓地に副葬品として埋葬されたもので、アンデスではミイラ化した遺体を多くの布で包み、埋葬する風習があった。墓地に埋められ、密閉状態にあったため、数千年前から数百年前の染織品であるにもかかわらず、色鮮やかなまま残っていたことに驚かされる。

※入館無料、事前申し込み不要

- 【企画展】「神々の宿る布-古代アンデスからのメッセージ」
- 期間:2016年6月6日(月)～7月23日(土)休館日は日曜
- 開館時間:9時30分～16時30分 (入館は16時まで)
- 場所:西宮上ヶ原キャンパス 時計台2階展示室
- 問い合わせ先:関西学院大学博物館(TEL:0798・54・6054)

